

# 令和 7 年度 第 1 回 高槻市農林業活性化審議会

令和 7 年 1 0 月 3 0 日 (木)

高槻市 街にぎわい部 農林緑政課

# 高槻市農林業基本計画の概要について

## 計画における基本目標

「市民と農林業者がともに目指す豊かな農林業の創造」

## 計画における基本的方向性

### 基本的方向性 1：次代に継承する農業

- ・担い手の育成・確保
- ・地産地消の推進
- ・農業所得の向上

### 基本的方向性 2：農業・農村部の強靱化

- ・農地の保全・活用
- ・防災・減災対策

### 基本的方向性 3：森林の再生・未来への森づくり

- ・森林の整備・森林保全
- ・多様な主体による森づくり

### 基本的方向性 4：都市と農山村の共生・対流

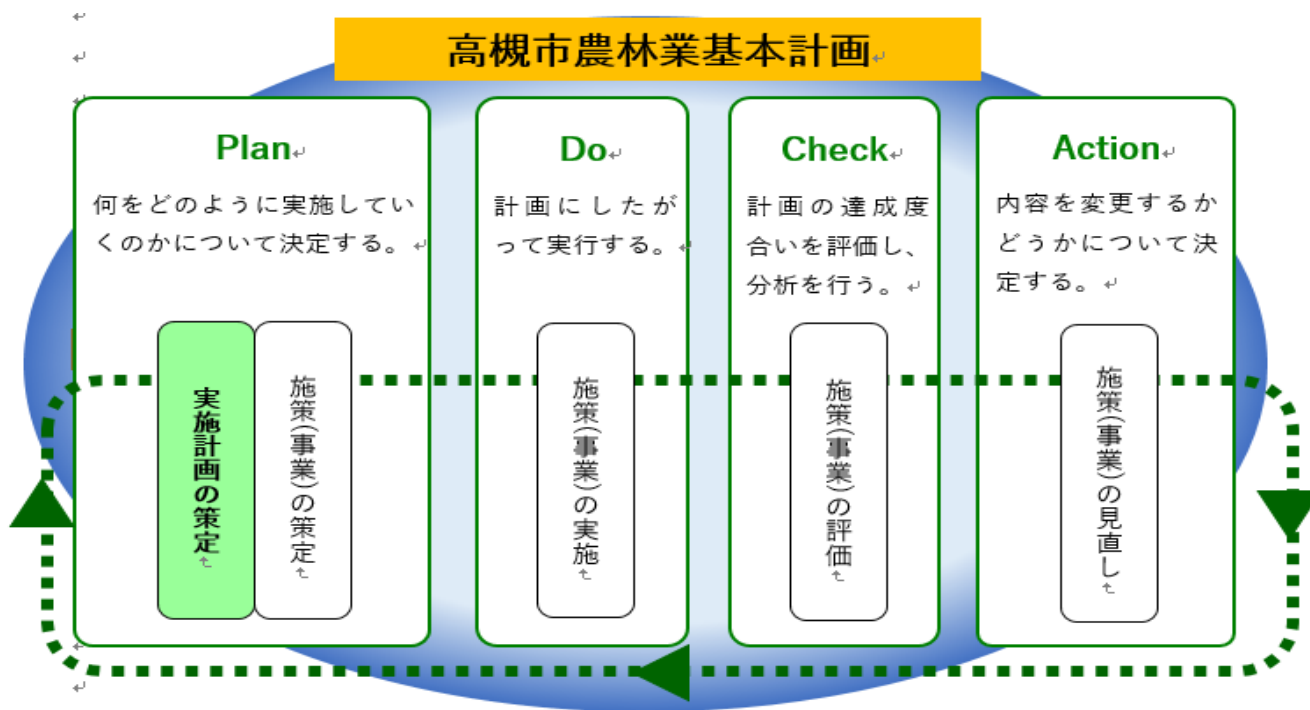
- ・農林業者と市民の相互理解
- ・教育・福祉との連携
- ・農林産物と農山村の魅力づくり

# 基本計画における実施計画について

## 指標を定めた進捗管理

「重要施策については、指標を定め基本目標を目指す」

## P D C Aサイクルの適正な運用



# 実施計画進捗管理表について

## 高槻市農林業基本計画実施計画進捗管理表

### 1. 基本的方向性

基本的方向性1：次代に継承する農業

### 2. 指標

指標	策定時(R3.3時点)
①新規参入者数(準農家、法人経営体含む)の増加	—
②農用地利用集積面積(利用権設定面積)の増加	19.7ha
③6次産業化に新たに取り組む事業者の増加	—

各施策の指標

各施策における進捗状況

各施策の目標

推移(R5.3時点)	推移(R6.3時点)	実績(R7.3時点)
2件	8件(前年度+6件)	17件(前年度+9件)
21.1ha	24.3ha	27.4ha
—	1件(前年度+1件)	2件(前年度+1件)

目標(R14.3時点)
30件
21.7ha
5件

令和6年度実績・評価を踏まえ、いずれかを設定「継続」、「完了」、「拡充」、「縮小」、「廃止」

### 3. 実施計画の進捗状況

※1 ◎：予定を上回って実施、○：予定どおり実施、△：予定を下回って実施、×：未実施  
※2 「継続」、「完了」、「拡充」、「縮小」、「廃止」を選択

計画の取組項目	指標	実施計画	令和6年度実績	令和6年度評価※1	今後の方向性※2
次世代を担う就農者への支援	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関等との情報共有に努め、新規就農相談窓口の充実に取り組みます。</li> <li>新規就農者の定着を推進するため、補助金等の経営安定化の支援に取り組みます。</li> <li>関係機関の研修や中間管理機構を通じた農地貸借等を活用した支援に、地元実行組合や関係機関等と連携を図り取り組みます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関等との情報共有に努め、新規就農相談に対応した。</li> <li>●相談件数 30件(内経営開始件数 9件)</li> <li>今後担い手の中心となる認定新規就農者を新たに2件認定し、内1件について、新規就農者向けの補助金にかかる予算を確保した。</li> <li>新規就農希望者の農地確保に向けて地元実行組合や関係機関を交えて取り組んだ。</li> <li>●農地確保件数 9件(1.7ha)</li> </ul>	○	継続

基本計画の取組

基本計画の取組内容

取組の指標

実施計画の内容

実施計画に対応する令和6年度の実績

実績に対する評価として、いずれかを設定「◎」、「○」、「△」、「×」



# スライドの見方について

## 基本計画の取組

### 1. 次代に継承する農業

担手の育成・確保

### 基本的方向性

農業所得の向上

### 2. 農業・農村部の強靱化

農地の保全・活用

防災・減災対策

### 3. 森林再生・未来への森づくり

森林の整備・森林保全

多様な主体による森づくり

### 4. 都市と農山村の共生・対流

農林業者と市民の相互理解

教育と福祉の連携

農林産物と農山村の  
魅力づくり

## 1 次世代を担う就農者への支援

### 指標① 新規参入者数（準農家、法人経営体含む）の増加

#### 各施策の指標

#### 各施策の進捗状況・目標

#### 実施計画に対応する 令和6年度取組実績

#### 令和6年度取組実績

- 新規就農相談対応：相談件数30件（うち新規就農件数0件）
- 中間管理事業の農地貸借：農地貸借件数0件
- HP、広報による情報発信

#### 各施策の実施計画

計画策定時（R3.3）

—

推移（R7.3時点）

17件

目標（R14.3時点）

30件

## 取組における主な実施計画

関係機関との連携による相談体制の構築・新規就農相談窓口の充実  
初期投資促進事業に係る補助金の予算を確保

## 1. 次代に継承する農業

### 担い手の育成・確保

地産地消の推進

農業所得の向上

## 2. 農業・農村部の強靱化

農地の保全・活用

防災・減災対策

## 3. 森林再生・未来への森づくり

森林の整備・森林保全

多様な主体による森づくり

## 4. 都市と農山村の共生・対流

農林業者と市民の相互理解

教育と福祉の連携

農林産物と農山村の  
魅力づくり

# 1 次世代を担う就農者への支援

## 指標① 新規参入者数（準農家、法人経営体含む）の増加



### 令和6年度取組実績

- 新規就農相談対応：相談件数30件（うち新規就農件数9件）
- 中間管理事業の農地貸借：農地貸借件数9件（1.7ha）
- HP、広報による情報発信

計画策定時（R3.3）

—

推移（R7.3時点）

17件

目標（R14.3時点）

30件

## 取組における主な実施計画

関係機関との連携による相談体制の構築・新規就農相談窓口の充実  
初期投資促進事業に係る補助金の予算を確保



## 1. 次代に継承する農業

### 担い手の育成・確保

地産地消の推進

農業所得の向上

## 2. 農業・農村部の強靱化

農地の保全・活用

防災・減災対策

## 3. 森林再生・未来への森づくり

森林の整備・森林保全

多様な主体による森づくり

## 4. 都市と農山村の共生・対流

農林業者と市民の相互理解

教育と福祉の連携

農林産物と農山村の  
魅力づくり

## 2 地域の中核を担う農業経営者の育成

### 指標② 農用地利用集積面積（利用権設定面積）の増加



#### 令和6年度取組実績

- 大阪版認定農業者支援事業の補助事業の実施：補助金事業数 2 件
- 農地中間管理事業の活用勧奨：農地貸借面積合計 27.4ha

計画策定時（R3.3）

19.7 ha

推移（R7.3時点）

27.4 ha

目標（R14.3時点）

21.7 ha

### 取組における主な実施計画

大阪版認定農業者で構成する団体への支援を充実





### 1. 次代に継承する農業

担い手の育成・確保

地産地消の推進

農業所得の向上

### 2. 農業・農村部の強靱化

#### 農地の保全・活用

防災・減災対策

### 3. 森林再生・未来への森づくり

森林の整備・森林保全

多様な主体による森づくり

### 4. 都市と農山村の共生・対流

農林業者と市民の相互理解

教育と福祉の連携

農林産物と農山村の  
魅力づくり

## 2 圃場・農道・用水路の基盤整備

### 指標④ 市街地の農業用水路を整備



#### 令和6年度取組実績

- 各地域の要望や実情を踏まえた農道整備工事を実施：農道整備2路線
- 共同維持管理活動等に対する補助金交付：2団体
- 地元実行組合等の農業基盤整備を支援：19件

計画策定時（R3.3）

1.92 km

推移（R7.3時点）

2.10 km

目標（R14.3時点）

3.30 km

### 取組における主な実施計画

農道や水路等の整備による持続可能な機能保全  
災害に強い農業基盤の整備を支援

#### 1. 次代に継承する農業

担い手の育成・確保

地産地消の推進

農業所得の向上

#### 2. 農業・農村部の強靱化

##### 農地の保全・活用

防災・減災対策

#### 3. 森林再生・未来への森づくり

森林の整備・森林保全

多様な主体による森づくり

#### 4. 都市と農山村の共生・対流

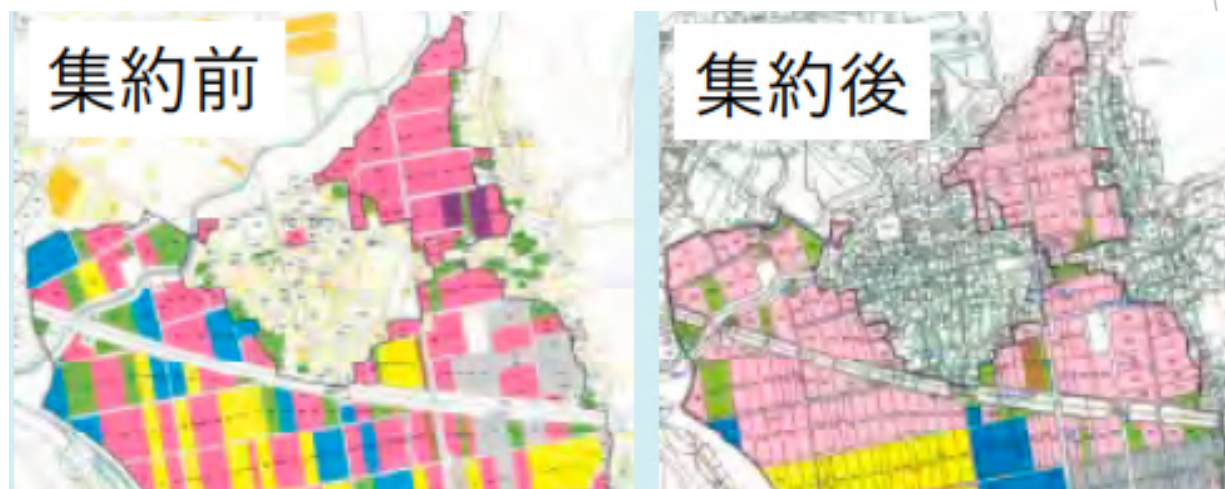
農林業者と市民の相互理解

教育と福祉の連携

農林産物と農山村の  
魅力づくり

## 4 人・農地プラン等の推進

### 指標⑤ 人・農地プラン、農空間づくりプランの策定推進



#### 令和6年度取組実績

○ 実行組合等と協議を行い、全対象区域で計画を策定（37地区）

計画策定時（R3.3）

—

推移（R7.3時点）

37 地区

目標（R14.3時点）

2 地区

### 取組における主な実施計画

各地域での協議を踏まえた地域計画の作成



# 地域計画の進捗報告

## 令和6年度1月末時点の進捗状況

### ① 令和5年度 アンケート調査(回答率80%)

約 1,900件 約 9,000筆の所有者に調査を実施

### ② 令和6年度 4～7月 市内約49地区と協議

地域と  
協議

- 49地区と協議(実行組合長、役員等)
- 全地区の実行組合員へ周知、意見募集

地域の  
主な意見

- ◇ 担い手不足、農業機械の費用負担、営農意欲の低下
- ◇ 遊休農地の増加、有害鳥獣による農作物被害

### ③ 令和6年度 9月上旬 協議結果取りまとめ公表

- ◇ 地区の一部統合により、計画対象地区が37地区に
- ◇ 協議結果を取りまとめ、HP等で公表

## 令和6年度2月 以降の予定

### ④ 令和6年度 2月中旬 関係者への意見聴取

- ◇ 計画案をとりまとめ、関係機関への意見聴取を予定  
(農業委員会、中間管理機構、農協、土地改良区、 など)

### ⑤ 令和6年度 3月中旬 地域計画(案)の公告

- ◇ 地域計画(案)の公告・縦覧、地域計画策定の公告

### ⑥ 令和6年度 3月末 地域計画の策定

- ◇ 全 37 地区の地域計画を策定

### ⑦ 令和7年度 ～ 随時 地域計画の随時更新

- ◇ 地域ごとの課題解決に向けた協議を継続して実施予定



### 1. 次代に継承する農業

担い手の育成・確保

地産地消の推進

農業所得の向上

### 2. 農業・農村部の強靱化

農地の保全・活用

**防災・減災対策**

### 3. 森林再生・未来への森づくり

森林の整備・森林保全

多様な主体による森づくり

### 4. 都市と農山村の共生・対流

農林業者と市民の相互理解

教育と福祉の連携

農林産物と農山村の  
魅力づくり

## 1 農地の防災機能の活用

### 指標⑥ 防災協力農地等、防災に寄与する農地を設定



防災協力農地登録制度（出典：大阪府HP）

#### 令和6年度取組実績

- 関係団体の研修等への参加
- 導入自治体からの情報収集

計画策定時（R3.3）

—

推移（R7.3時点）

—

目標（R14.3時点）

1 ha

### 取組における主な実施計画

**農地が持つ防災機能の活用について調査・研究**

### 1. 次代に継承する農業

担い手の育成・確保

地産地消の推進

農業所得の向上

### 2. 農業・農村部の強靱化

農地の保全・活用

防災・減災対策

### 3. 森林再生・未来への森づくり

#### 森林の整備・森林保全

多様な主体による森づくり

### 4. 都市と農山村の共生・対流

農林業者と市民の相互理解

教育と福祉の連携

農林産物と農山村の  
魅力づくり

## 1 森林被災地復旧に対する支援

### 指標⑦ 平成30年の台風により被災した森林を復旧



整備後



計画策定時（R3.3）

215 ha

推移（R7.3時点）

226 ha

目標（R14.3時点）

415 ha

#### 令和6年度取組実績

- 大阪府森林組合が実施する災害からの復旧に対する支援：復旧面積 2.08ha
- 令和7年度の事業実施箇所について国・府に予算要望を実施

### 取組における主な実施計画

## 被災森林の復旧に対する支援



### 1. 次代に継承する農業

担い手の育成・確保

地産地消の推進

農業所得の向上

### 2. 農業・農村部の強靱化

農地の保全・活用

防災・減災対策

### 3. 森林再生・未来への 森づくり

**森林の整備・森林保全**

多様な主体による森づくり

### 4. 都市と農山村の共生・対流

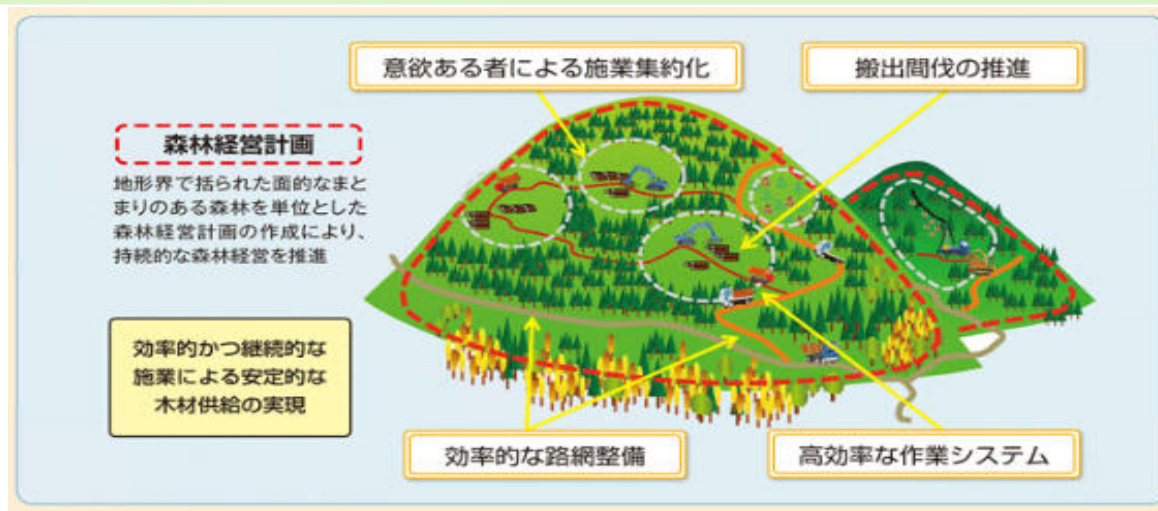
農林業者と市民の相互理解

教育と福祉の連携

農林産物と農山村の  
魅力づくり

## 2 森林経営に対する支援

### 指標⑧ 森林施業を実施するための森林経営計画の策定



#### 令和6年度取組実績

- 森林経営計画の作成に向けて、大阪府森林組合と協議・調整
- 「森林経営管理法」での課題整理や実施手法を検討

計画策定時（R3.3）

8 箇所

推移（R7.3時点）

8 箇所

目標（R14.3時点）

12 箇所

#### 取組における主な実施計画

「森林経営計画」の策定に対する支援  
「森林経営管理法」での課題整理や効果的な実施手法の検討

### 1. 次代に継承する農業

担い手の育成・確保

地産地消の推進

農業所得の向上

### 2. 農業・農村部の強靱化

農地の保全・活用

防災・減災対策

### 3. 森林再生・未来への森づくり

#### 森林の整備・森林保全

多様な主体による森づくり

### 4. 都市と農山村の共生・対流

農林業者と市民の相互理解

教育と福祉の連携

農林産物と農山村の  
魅力づくり

## 3 森林整備に対する支援

### 指標⑨ 間伐や下刈りなど継続的な森林整備を実施



#### 令和6年度取組実績

- 間伐、下刈り等の森林施業に対する大阪府森林組合と協議・調整し、国・府に予算要望
- 国土調査法に基づき実施する山林地籍調査事業に対する支援

計画策定時（R3.3）

—

推移（R7.3時点）

9.2ha

目標（R14.3時点）

500 ha

### 取組における主な実施計画

森林経営計画に基づき実施する  
間伐、下刈り等の森林施業に対する支援



### 1. 次代に継承する農業

担い手の育成・確保

地産地消の推進

農業所得の向上

### 2. 農業・農村部の強靱化

農地の保全・活用

防災・減災対策

### 3. 森林再生・未来への森づくり

森林の整備・森林保全

### 多様な主体による森づくり

### 4. 都市と農山村の共生・対流

農林業者と市民の相互理解

教育と福祉の連携

農林産物と農山村の  
魅力づくり

## 1 ボランティア団体等との連携

### 指標⑩ 森林ボランティアの活動人数を維持



計画策定時 (R3.3)

2,243 人/年

推移 (R7.3時点)

3,712 人/年

目標 (R14.3時点)

3,800人 /年

### 令和 6 年度取組実績

- 「市民林業士養成講座」を実施し、市民林業士を養成
- 市内活動組織が実施する間伐等の施業に対して支援
- 府の「アドプトフォレスト制度」による企業のボランティア活動への支援

### 取組における主な実施計画

多くの市民が関わる森づくり活動を実施

# 森林ボランティアの養成（高槻森づくりアカデミー）

## 【課題】

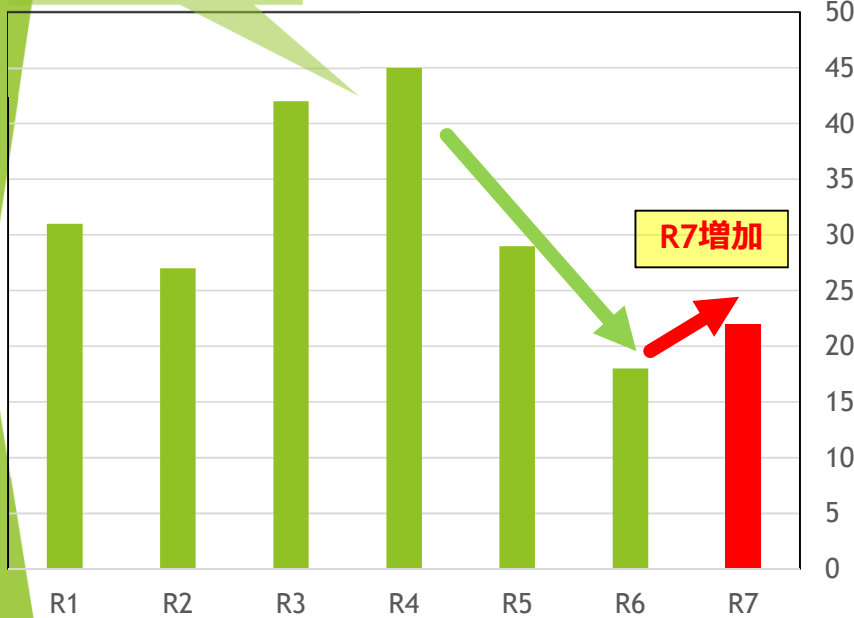
加入者の高齢化（60代～70代中心）

応募者数が減少

応募者数の推移

一時的に増加  
（台風被災林への関心）

R7増加



講座内容を見直し

受講生・ボランティア意見を反映

木材利用・森林資源の循環・生物多様性等の講義を追加

令和7年度「高槻森づくりアカデミー」カリキュラム（案）

回	日程 (予備日)	場所	午前(10:00～12:00)	午後(12:45～14:45)
			内容	内容
1	7/8	森林市民 交流センター	開講式 基調講演	オリエンテーション 高槻の森林の現状
2	7/23	森林市民 交流センター	森のしくみ①	森林作業の安全・ルール
3	8/6	森林市民 交流センター	高槻の森林視察 【林道萩谷岡山線】 【森林資源加工センター】	地域木材利用施設 視察
4	8/20 (8/27)	現場	森林作業入門 (間伐等)	森林作業入門 (間伐等)
5	9/3	森林市民 交流センター	救命救急講習	森のしくみ②
6	9/17 (9/24)	現場	天然林整備実習 (間伐等)	高槻の樹木について 天然林整備実習 (間伐等)
7	10/1 (10/8)	現場	人工林整備実習 (間伐等)	人工林整備実習 (間伐等)
8	10/15	森林市民 交流センター	森林資源の循環 (持続可能な社会への貢 献)	府民協働の森づくり 拡大竹林の駆除について
9	10/29 (11/5)	現場	竹林整備実習 (間伐等)	竹資源の活用 竹細工
10	11/12	森林市民 交流センター	生物多様性について	森林と文化 ～森とともに生きる～
11	11/28	森林観光 センター	森林ボランティアの 社会的役割	閉講式 (11:30～12:00)

### 1. 次代に継承する農業

担い手の育成・確保

地産地消の推進

農業所得の向上

### 2. 農業・農村部の強靱化

農地の保全・活用

防災・減災対策

### 3. 森林再生・未来への 森づくり

森林の整備・森林保全

多様な主体による森づくり

### 4. 都市と農山村の共生・対流

#### 農林業者と市民の相互理解

教育と福祉の連携

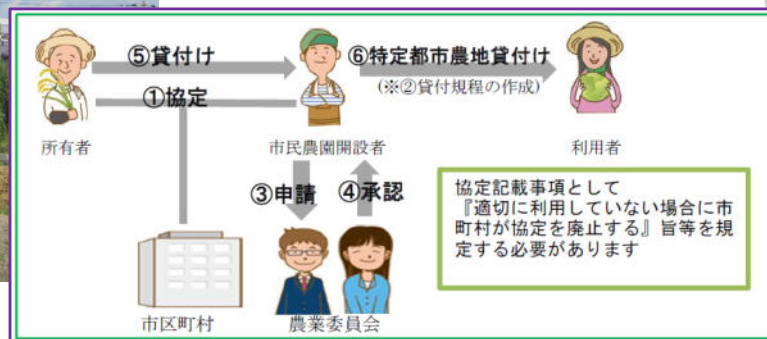
農林産物と農山村の  
魅力づくり

## 2 市民農園整備の推進

### 指標⑪ 市民農園開設面積の増加



都市農地貸借法を活用した  
農地の貸借の仕組み  
(市民農園の開設が可能)



計画策定時 (R3.3)

2.3 ha

推移 (R7.3時点)

2.4ha

目標 (R14.3時点)

3.1 ha

### 令和6年度取組実績

○ ホームページの充実等による市民農園開設制度の周知

出典：農水省HP

### 取組における主な実施計画

## 市民農園開設の周知による市民農園整備に対する支援



### 1. 次代に継承する農業

担い手の育成・確保

地産地消の推進

農業所得の向上

### 2. 農業・農村部の強靱化

農地の保全・活用

防災・減災対策

### 3. 森林再生・未来への 森づくり

森林の整備・森林保全

多様な主体による森づくり

### 4. 都市と農山村の共生・対流

農林業者と市民の相互理解

教育と福祉の連携

**農林産物と農山村の  
魅力づくり**

## 2 森林資源等の活用推進

### 指標⑫ 木材利活用の増加



#### 令和6年度取組実績

- 風倒木材等を有効活用できるよう調査研究
- 関連協議会のイベント企画運営の支援

計画策定時（R3.3）

—

推移（R7.3時点）

6,897 m<sup>3</sup>

目標（R14.3時点）

35,000 m<sup>3</sup>

#### 取組における主な実施計画

**大阪府森林組合と協働して植林活動等を推進**

## 有害鳥獣等特別対策本部の発足

有害鳥獣等特別対策本部

本部長：高槻市長



強力にサポート

### 有害鳥獣対策協議会

猟友会

J A

実行  
組合

農業  
委員会

市



#### ①安心感

被害に苦しむ農業者の**安心感の担保と、営農意欲低下の防止**

#### ②連帯感

関係機関が協働で対策に当たるという**連帯感の醸成**

#### ③取組促進

有害鳥獣対策に取り組む各主体の、**より一層の活動の促進**



# 有害鳥獣等特別対策本部の発足

## 7月4日に行われた発足式の様子

